

令和元年度第1回農業委員会総会 議事録

1. 開催場所：令和元年8月28日（水）午前9時開会
2. 場所：馬路村役場2階会議室
3. 出席者：井上博俊、川内みさ、大田耕司、湯浅雅文、笹岡俊、内原博信、小松博
4. 欠席者：なし
5. 議題：①農下限面積の設定について
②人・農地プランの実質化に向けた取組について
③その他

6. 議事

(会長)

定刻がまいりましたので始めます。

本日は全員出席です。ありがとうございます。

本日の署名議員は、大田委員と川内委員にお願いします。

本日の会議書記には農業委員会事務局職員の大田さんを指名いたします。

それでは、議事に入ります。

議案第1号

(会長)

それでは、第1号議案について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

はい、次の議題は下限面積の設定についてです。

毎年下限面積について見直しを行っていますが、長らく馬路では30aで維持している状況です。レジュメで、県内の下限面積の設定状況についてお配りしています。

昨年度の総会において、下限面積30aにかかってくる案件が現状ないため、30aのまま様子を見ようという結論になりました。その後、現在に至るまで下限面積にかかる案件がありませんでしたが、年度も変わりましたので本日の総会で一度議論いただければと思います。よろしくをお願いします。

(会長)

下限面積設定の権限が農業委員会にあるので、案件が出るまで30aでいけばいいのではないかと。

(他の委員)

異議なし

(会長)

それでは、下限面積は現状の 30a のままいきます。

議案第 2 号

(会長)

それでは、次の議題に移ります。人・農地プランの実質化に向けた取組について、事務局の説明をお願いします。

(事務局)

馬路村において平成 25 年度人・農地プランを作成し、これまで更新をおこなってきました。別添資料に記載している中心経営体に農地を集約化し、将来の農地を守っていくことが目的です。人・農地プランを作成することで様々な補助制度を活用できます。しかしながら、全国的に人・農地プランが真に地域の現状に則した取組とは言い難く、本村の人・農地プランも将来性を見据えた取組が急務となっています。

具体的には、①5～10 年後の農地利用に関するアンケート、②アンケートや現地調査、話し合いを基に地図の作成、③将来方針を作成することで実質化された取組とみなされます。

まずは、アンケートを実施しますが、昨年の総会で営農意向調査の用紙の配付、回収方法について全て郵送にすると決めましたので、その方向で進めアンケートの集計は県農業会議に委託します。

別添資料のアンケート案を作成しましたので、この後の協議や次回の総会までにご意見をいただければと思います。

農業委員の皆様には、集落での話し合いに参加し、市町村や農協と連携して推進していただきたいと考えています。

また、今後のスケジュールにつきましては、①～③における集落ごとの工程表をする必要があるため、本日の会議で大枠を決めて県へ報告し、報告したものを次回の総会でお示しします。別添工程表には 2019～2020 年までの記載がありますが、すべての集落を 2020 までに実質化する必要はありません。優先順位や集落ごとの実情に応じて計画的に工程表を作成します。事務局としましては今年度中にすべての集落を対象にアンケートを実施できると考えています。また、地図の作成も最低 1 集落は実施できればと思います。

(井上委員)

アンケートに後継者の有無を回答するようになっているが、わからないと回答する人が多いのではないか。

(事務局)

例えば息子がすでに村へ帰ってきて働いている場合などは、見込として後継者がいると回答してもらえるように記載の仕方を工夫したいと思います。

(湯浅委員)

人・農地プランとは何なのかがわかりくい。

あと既存の人・農地プランの記載されている農家はどのような位置づけなのかがわからない。

(事務局)

簡易に説明しますと 5～10 年先も農業を続けていく意思がある人、特に規模を拡大したい意欲ある農家さんを将来の担い手に位置付け、後継者がいない農家の土地を借りたり買うなどして、村内の農地を守っていくことです。その手段として、アンケートや地図への落とし込み、話し合いが必須となっています。

既存の農地プラン記載されている農家さんはそういった担い手となる方ですが、年齢も高齢となっていることから見直しをかける必要があると思います。

(会長)

若い担い手も少ないので、今後の担い手は、(株)ゆず組合などが中心となっていくのではないのでしょうか。

(井上委員)

確かに農協さんには、後継者がいなくなる農地をどんどん耕作してもらいたい。

(会長)

工程表は4月、7月、10月、1月となっているが、3月も入れた方がわかりやすい。

(事務局)

年度で見た時にわかりやすいよう、表記を変えます。

(井上委員)

西谷は複数の地区の農家が耕作しているため、地権者がわからないし、あまり知らない人もいますので、他の委員にコーディネーターとして入ってもらいたい。

(会長)

影や相名地区の委員も一緒に推進することとしましょう。

(会長)

他に質問はありませんか。

なければ、今年度はまずアンケートから実施することとし、順次地図の作成を進めていきましょう。

次回の総会までにアンケート案の見直しがあれば、意見を出してください。

事務局は作成した工程表の提示をお願いします。

(会長)

その他なにかありませんか。

なければ本日はこれで閉会したいと思います。

ありがとうございました。

次回総会開催予定 9月20日9:00～

10時15分会議終了

上記決議を明確にするため、この議事録を作成し署名委員がこれに署名する。

署 名 人

馬路村農業委員会

委 員 大田 耕司

委 員 川内 みさ